

学校の懇談会や三者面談の折、保護者の方々から子どもの学習について「自分の個性を発揮して、伸び伸び学んでほしい」とか「成績をあげて進学をして幸せに暮らしてほしい」といった願いをきくことがあります。ある人は「子どもは伸び伸びと、多少勉強はできなくても」といいながら、「世の中は厳しいから、しっかり勉強してもらわなくちゃ」といいます。それが、わが子となるとさらに深刻です。親として、子どもたちに関わる大人として、この願いを叶えたいと考えます。

では、子ども自身はどうでしょうか。おそらく大部分の子どもにとっては「成績をあげたい」とか「高校へ行きたい」という願いから、学習(勉強)に取り組んでいる場合が多いでしょう。そんな子どもたちの気持ち「何で勉強しなくちゃいけないの?」とか「こんなこと勉強して何になるの?」といった疑問として、親や大人にぶつけられることがあります。子どもたちは学習をすることで、何を身につけることができるのでしょうか。それを、知識・自信・知恵という3つのキーワードで考えてみたいと思います。

まずは知識です。これは学校のテストや成績、さらに高校入試に直接結びつきます。学習とは、知識を増やすことと言え換えてもよいでしょう。この知識を増やすには、学習時

間の確保が不可欠です。その結果、点数や成績として表われるのです。

でも、学習の目的は、知識を増やすことだけではありません。2つめのキーワードが自信です。自信とは、自ら信じると書きまします。他人からどう見られようと「自分は頑張った」とか「自分にもできた」と思うことが自信につながります。何か一つのことでは自信をつけた人は、全く新しい課題にぶつかった時も「やってみれば何とかなるさ」とか「きつと解決できるさ」と考えられるのです。知識を増やすことで自信が芽生え、その自信が、生きてはたらく力につながるのです。

そして、3つめのキーワード、それは知恵です。世の中、なかなか思い通りにはいかないことがあります。特に人間関係です。「こんな時うれしいうるうな」とか「こんな時たいい嫌な気持ちになるよな」と考えたり感じたりすることも、何らかの学習を通して、いつの間にか身につけていることが少なくないと思います。家庭や学校において学んだことは、自分に自信を与えてくれたり、生きる知恵を身につかせてくれたりするのです。

ただ、何事も興味や関心を持ち、学んだことこそ、自分のものになるでしょう。そんな機会を子どもたちに提供するのが、私たち大人の役目であると思っています。

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第288回

# 「学習について思うこと」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

## 広報「つる」広告募集!

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか?  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます!

問合先: 総務課 法制広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄